

さあ、いまこそ街を出よう！  
ロッキーの風に乗って  
明日の《ニュー・ファミリー》が  
全世界を感動でつつむ  
愛と冒険の真実のドラマ！



# アドベンチャー ファミリー

製作・原作アーサー・ダブス



## ADVENTURE FAMILY

ロバート・ローガン / スーザン・ショー  
ホリー・ホルムズ / ハム・ラーセン

監督・脚本 スチュワート・ラフィル  
音楽 ジェーン・カウアー / ダグラス・ラッキー  
主題曲 〈サントラ盤〉セブンス・シーズ・レコード  
撮影 ジェラルド・アルカン / アメリカ映画  
カラー作品 / 東宝東和提供



■3月陽春ロードショー

お得な特別観賞券 ¥900 絶賛発売中！

日劇地下  
**丸の内東宝**  
(211)6088



ADVENTURE FAMILY

★全米を熱狂させた真実の物語!

いま、若い人たちの間で最も話題を呼んでいる「アドベンチャー・ライフ」…誰もが抱いている夢は素晴らしい大自然のなかで家族みんなで暮らすこと。しかし、それにはどんなに勇気がいることだろうか。自然は美しい装いで生きながら厳しくつき放そうとする。そのなかで生きぬくには?そんな間に答えて全米から世界へ広がった野性の「アドベンチャー・ライフ」を謳いあげた待望の第1弾がやってきた。

この映画は大都会ロスアンゼルスでの生活を捨て、ロッキーの大地に深く根をおろそうと力を合わせる4人の家族をヒューマンなタッチで描いている。実在の物語として全米に深い感動を呼び大ベストセラーになった原作を原作者自ら映画化、現実感あふれるドラマによりみがえらせたのだ。

★愛と冒険がいっぱい!  
憧れのロッキーへ1800キロの旅路—娘ジュエニ—の病気を治すために、父親スキップは永い間の夢でもあった大自然の中の生活を実行に移した。まだ小さい息子のトビーやジュエニには澄みきった空気と伸び伸びした生活が必要だったから…

文明を離れて自給自足の生活を始めた一家と野性の動物たちの心暖まるふれあい。春の陽ざしをいっばいに浴びたピクニックや夏の日のイカダ乗りなどの楽しい日々が過ぎてやがて厳しい冬の訪れ…。狼やクーパー、巨大なグリズリーの襲来など初めての出来事が次々と起った。だがそうした障害をのりこえて励ましあいながら愛を育て、一家は力強く生きていく。★製作日数2年10カ月ノ空前の長期ロケノ! 実際の家族が旅したと同じように大撮影隊が1800キロの道のりに挑み出発したのは73年



のこと。アメリカ北西部からカナディアン・ロッキーにかけて自然の猛威のなかで撮影は続けられた。出演スターもスタッフと共に6カ月間にわたる生活したが、この映画の主役ともいえる動物たちの調教は監督スチュワート・ラフィルが担当、1年以上も費した。

★全米で大ヒットノ誰よりも自然を愛する

る勢いで上映中である。★さわやかなテーマ曲と美しいカメラノ! 全米を湧かした全く新しいファミリー映画にふさわしい明るいテーマ曲は人気歌手リー・ドレツサーが歌っている。撮影はベテランのジュラルド・アルカンが担当し、雄大な自然を巧みにとらえたその美しさに思わずため息が出る。



製作者アーサー・ダブス たった一人でアラスカ、北米大陸を横断、監督から撮影、音楽をこなした長篇記録映画を作ったこともあるダブスが友人をモデルに描いた小説を映画化し、劇映画製作の第一歩を踏み出したのがこの映画だ。ダブスは幼い頃から自然の魅惑にとりつかれ、実業家として成功した今でも限らない自然の美しさを撮影し、生きた野性の歴史として残すことに全生涯を捧げている。ダブスが生み出した画期的な興行方式を駆使し、ニューヨークでは「ベンジー」を破る記録的大ヒット、現在もなお「ジョーズ」に迫



《ニューファミリー・ピクチャー》の誕生!と世界中から絶賛の声が贈られています!

●世界一のニューファミリー (サンフランシスコクロニクル紙) 美しい風景にみちている。そしてそれと同じ位美しい父と母と子供たちの愛情。それにサスペンスあり、動物たちとの交流ありで、家族向け映画として最高の出来ばえである。

●自然に帰れノで記録破りの大ヒット (バラエティ紙) 飽きさせない。すべての人の悩みを吸取してニューヨークでは「ベンジー」の動員記録を破った。

●素晴らしい野生の呼び声 (ニューヨーク・デイルリー・ニュース紙) 映画が終りカーテンが下りた時、観ていた子供たちがスクリーンまで行って触っていた。こんなに都会の子供たちに明るさを取り戻させた映画はない。

●新しい家族映画の誕生 (アトランタ・ジャーナル紙) これ以上素晴らしい動物たちの演技はない。新しい映画へのきざしがはつきりと感じられ、観客も十二分に楽しんでる。

●永六輔さん(作家) お腹をかかえて笑った。背筋が寒くなった。目頭が熱くなった。心臓がとまったかと思った。そして、映画を家族で楽しめた感動に全身で酔った。

●植村直己さん(北極圏ひとり旅の冒険家) この映画は現代に生きるわれわれが忘れていた大切なことを教えてくれる。勇氣だ。自分自身の道を切り拓いていく信念だ。きびしい自然に立ち向うことこそ現代のロマンなのだ。

●戸川幸夫さん(作家) 今日の都会生活者の殆どは、脱都会して大自然の中に走り込みたいと願っている。この映画は、そんなわれわれの憧れと夢を1時間39分の間満足させてくれる。

- 清川 妙さん(ノンノ映画欄担当・評論家) 見終わった後の心には、ロッキーの山気にすみずみまで洗い浄められたような、さわやかさが残る。
- 文部省選定 ●東京都知事推奨
- 日本PTA全国協議会特薦
- 青少年映画審議会推選
- 優秀映画鑑賞会推選 他多数推選